



岩徳森林計画区の概要と 次期計画の検討方向



城山国有林（岩国市）

林野庁 近畿中国森林管理局
山口森林管理事務所

次期計画の検討方向

次期計画の検討方向

- 1 公益的機能の維持増進
- 2 林産物の持続的かつ計画的な供給
- 3 地域産業の振興及び住民福祉の向上への寄与

国有林の三つの基本方針に基づく、各事業・取組について、現行計画と同水準以上で計画していく考え。

次期計画の検討方向

さらに、次期計画において、公益的機能の維持増進に関して、次の3つの取組について重点的に計画

1 育成複層林施業の推進

- 水源涵養^{かん}タイプの人工林について「複層林施業群」の比率を高める（人工林の複層林）
- 人工林施業に適さない森林については、針広混交林や天然生林に誘導していく（天然林施業群）

2 自然度の高い森林の保全

- 保護林周辺の自然度の高い森林に係る見直し

3 林地保全に配慮した森林施業の推進

- 山地災害リスクの高い森林の機能類型を、「山地災害防止タイプ」に変更

1 育成複層林施業の推進

森林・林業基本計画に掲げる森林の誘導目標に向け、近畿中国森林管理局においても、自然・社会的条件等を踏まえ、育成複層林への誘導を推進

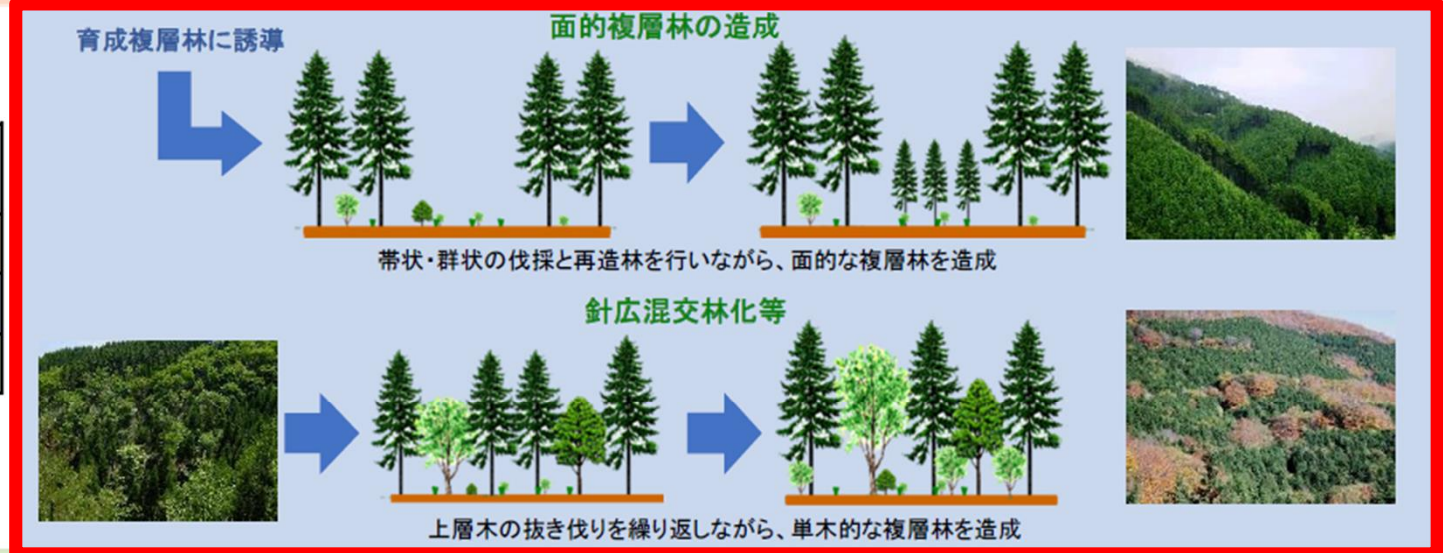


基本計画に掲げる森林の誘導目標

単位：万ha

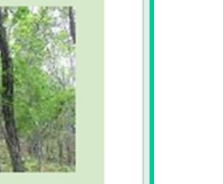
	令和2年 (現況)	令和7年 (目標)	令和12年 (目標)
育成単層林	1,010	1,000	990
育成複層林	110	130	150
天然生林	1,380	1,370	1,360

育成複層林への誘導目標
5年間で20万ha(4万ha/年)



天然生林から
育成複層林に誘導

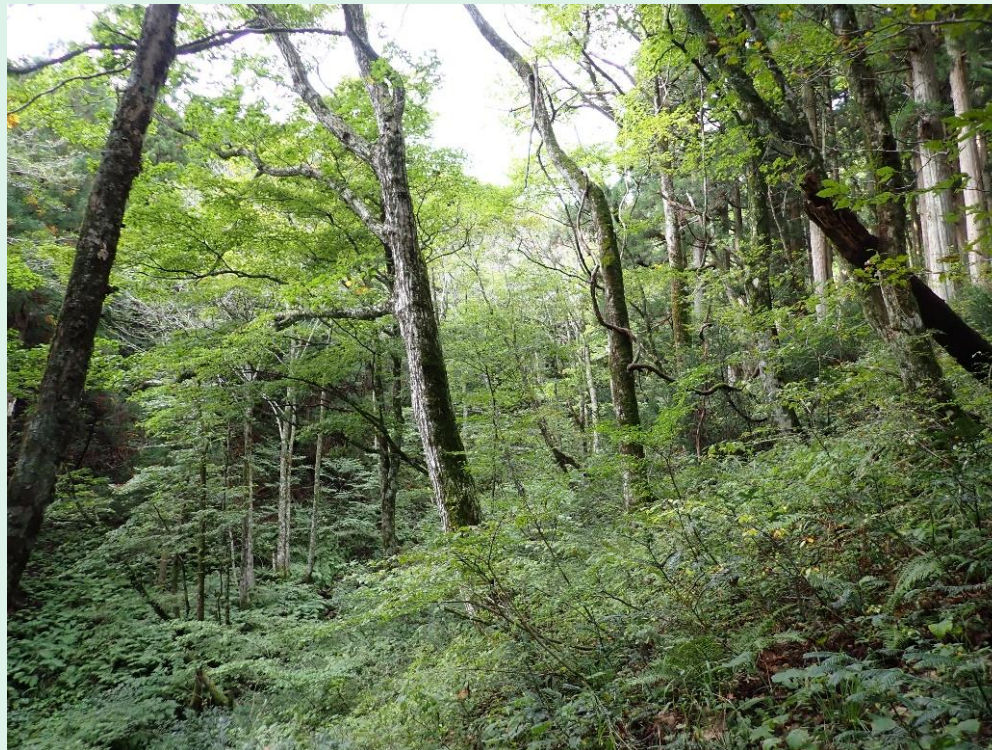
ナラ枯れ予防や放置され
た里山林の整備等



択伐を繰り返しながら、天然力を活用し、育成天然林を造成・維持

2 自然度の高い森林の保全

保護林周辺や奥山などに分布している自然度が比較的に高い森林については、今年度実施中の保護林モニタリング調査の結果等を踏まえ、適切な保全管理の対象と位置付けて自然維持タイプへの変更等を検討



寂地山国有林（岩国市）

種類	名称	特徴等	面積(ha)
希少個体群 保護林	寂地山ブナ・スギ希少個体群保護林	山口県におけるブナ等の代表的群落の保護	76.93
	右谷山ブナ希少個体群保護林	山口県におけるブナの代表的群落の保護	118.24

右谷山希少個体群保護林

寂地山希少個体群保護林



3 林地保全に配慮した森林施業の推進

森林は国土のおよそ7割を占め、地形は急峻で複雑かつ脆弱。また、近年全国各地で山地災害が激甚化しており、山腹崩壊、林道の損壊等広域にわたる大規模な山地災害が多発



国有林野では、従来から皆伐の伐採面積をおおむね5ha以下にするなど、公益的機能重視の管理経営を行ってきたが、今後、山地災害によるリスクを軽減するため、これまで以上にきめ細やかに林地保全に配慮した施業に取り組む。

・山地災害危険地区等との位置関係を確認し、機能類型の見直しを図る（山地災害防止タイプへの変更）。

・山地災害防止タイプのうち、急傾斜等に該当する小班をエリア指定し、林産物の搬出を原則として架線集材とする



山地災害危険地区の3区分

次期計画の検討方向

花粉発生源対策の加速化

府県が設定した「スギ人工林伐採重点区域」を含む市町村内の国有林を「重点区域に準じた国有林」に位置付けし、伐採・植え替えを効果的・集中的に実施。

（参考）林野庁の花粉発生源対策

花粉発生源となるスギの人工林について、「伐って、使って、植えて、育てる」といった森林資源の循環利用を推進し、花粉の少ない多様で健全な森林へ転換していきます。

伐って利用します

花粉を飛散させるスギ人工林等を伐採・利用します。

住宅に加えて、公共施設や商業施設の木造化等にスギ材を利用することにより、花粉を飛散させるスギ人工林の伐採を進めます。



伐採された木材の利用拡大



花粉発生源である立木の伐倒・搬出

植え替えます

花粉の少ない苗木等による植替や広葉樹の導入を進めます。

花粉の少ない苗木の生産増大に取り組み、スギの伐採跡地への植栽を促進します。また、条件不利地においては、伐採後の広葉樹の導入を進めます。

花粉の少ない苗木等の生産体制を強化



出させません

スギ花粉の発生を抑える技術の実用化を図ります。

スギ花粉の飛散防止剤の開発・普及等、スギ花粉の発生を抑え飛散させない技術の実用化を図ります。



花粉飛散防止剤により枯死した雄花



目 標

- 10年後にはスギ人工林※を2割減少
- 将来的（約30年後）には花粉発生量の半減を目標

※花粉の少ない苗木はスギ人工林に該当しない。

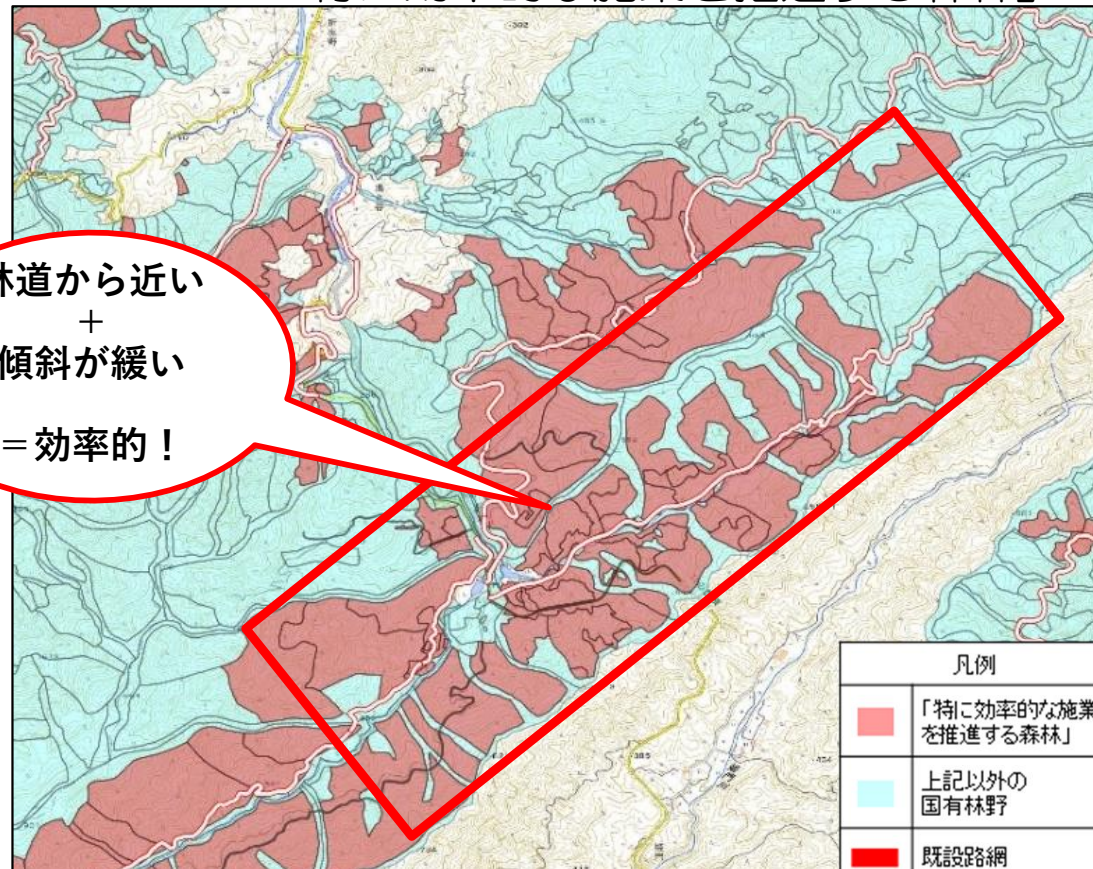
注）大都市近郊における伐採を率先

次期計画の検討方向

「特に効率的な施業を推進する森林」

水源涵養タイプに区分された人工林のうち、地位が比較的高く、急傾斜地以外の自然条件や林道等からの距離が近いなど社会的条件から持続的な林業生産活動に適したものを「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と取組内容



「新しい林業」の実現
に向けた
効率的な施業の実施
と民有林への普及



事業発注を通じた
林業事業体の育成



木材の安定供給に資
する林道の
機能強化



このほか、分収造林
新規契約やレーザ計
測・解析等を優先的
に実施



これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

岩徳森林計画区における 国有林の特徴的な取組

岩徳森林計画区の概況

【岩徳森林計画区位置図】



○岩徳森林計画区は、山口県南東部に位置し、岩国市に比較的大きな団地があり、瀬戸内海沿岸及び島しょ部には小面積の団地が点在。

○森林の総面積154千haのうち国有林野は2千ha（2%）。

○ハイキングなど森林を利用したレクリエーション、保健休養の場として重要な役割。

（該当市）
岩国市、下松市、周南市

森林資源の状況

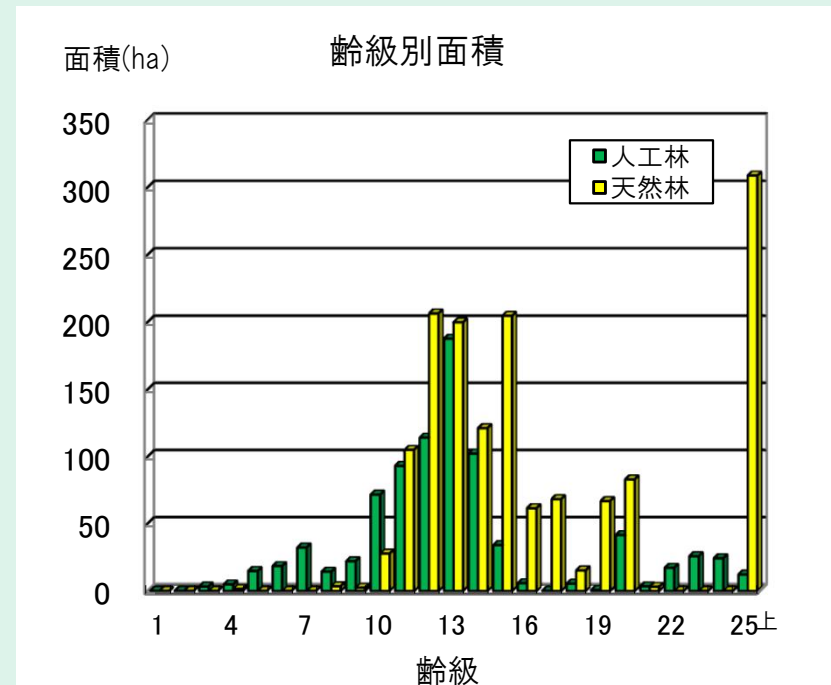
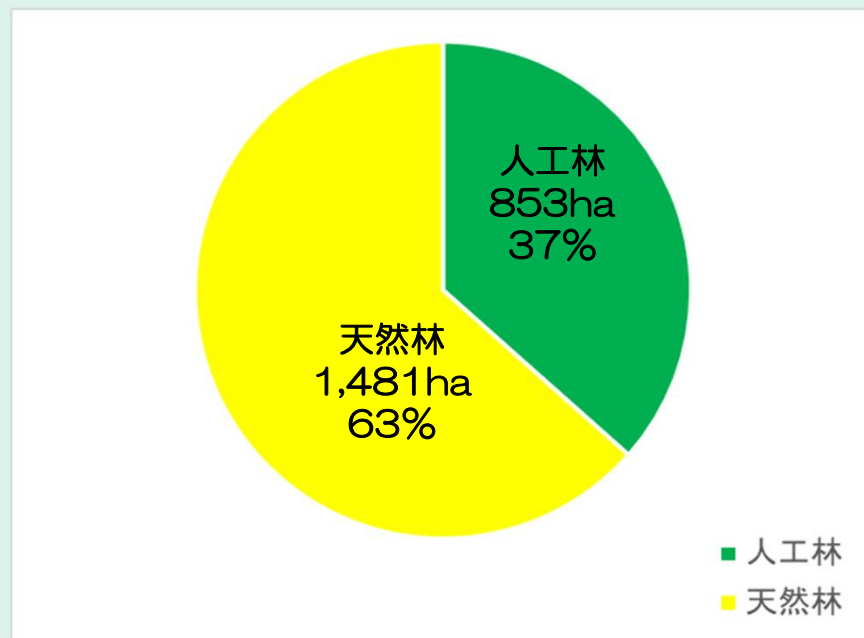
○面積割合は人工林が37%、天然林が63%

○人工林の蓄積割合は、ヒノキ52%、スギ37%

○人工林の齢級は10齢級から14齢級が中心

※齢級とは、森林の年齢(林齢)を5年でひとくくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

【人工林・天然林の面積割合】

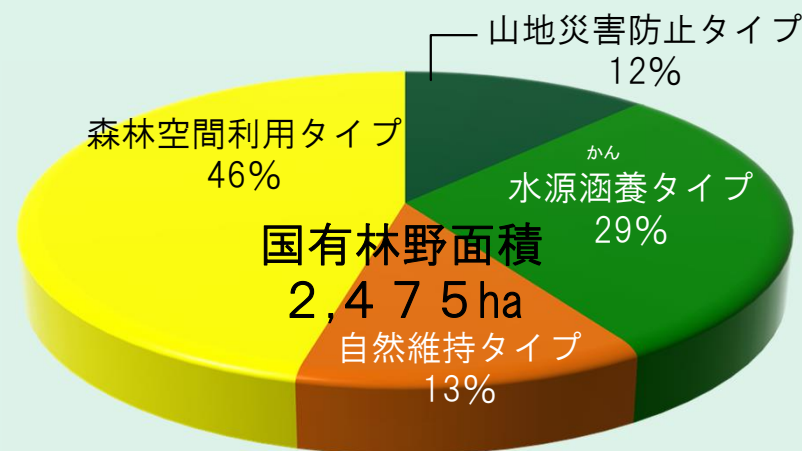


機能類型に応じた管理経営

○重点的に発揮すべき機能によって、森林を5つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を行っています。

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止 タイプ	285	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持 タイプ	331	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用 タイプ	1,148	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成 タイプ	—	騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
かん 水源涵養 タイプ	712	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林

【機能類型別割合】



主要事業

(現行計画量：R4～R8年度)

・伐採量

	現行計画量	
	面積(ha)	材積(m ³)
主伐	33	6,614
間伐	333	40,548

・更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
14	23

・保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
42	3	—

(事業実績：R4～R6年度)

	事業実績	
	面積(ha)	材積(m ³)
主伐	5	260
間伐	2	374

事業実績 (ha)	
人工造林	天然更新
—	—

事業実績 (ha)		
下刈	除伐	枝打
—	9	—

主要事業

（現行計画量：R4～R8年度）

（事業実績：R4～R6年度）

・林道

現行計画量		
	開設（m）	改良（箇所）
数量	—	—

事業実績		
	開設（m）	改良（箇所）
数量	—	—

・治山

現行計画量	
保全施設（箇所）	12
保安林整備（ha）	188

事業実績	
保全施設（箇所）	8
保安林整備（ha）	—

公益的機能の維持増進

国土の保全

○保安林及び治山施設の整備

山地災害防止機能や水源涵養機能等を高度に発揮させるため、保安林を配備するとともに、保安林の機能を高めるための治山事業を実施

水源かん養保安林



城山国有林（岩国市）

保安林の指定状況（R6年度末）

保安林の種類	面積(ha)
水源かん養保安林	1,266
土砂流出防備保安林	1
土砂崩壊防備保安林	270
防風保安林	14
干害防備保安林	53
魚つき保安林	65
保健保安林	221
風致保安林	260

※ 保安林種が重複する箇所がある

国土の保全

○保安林及び治山施設の整備

施工前



施工後（山腹工）



現在



平成30年7月の集中豪雨（西日本豪雨）により、山腹斜面が大規模に崩壊し、大量の土砂が下流に流出

古屋国有林（岩国市）

森 林 の 保 全 管 理

○森林ボランティアや自治体と連携し、森林巡視・山火事の防止・不法投棄への対応などの保全管理を実施



笠戸島ボランティア活動（クズの処理作業）
笠戸島国有林（下松市）

林産物の持続的かつ計画的な供給

林産物(木材)の供給

～ 地形を考慮した間伐、小径木の利用拡大 ～

- 本計画区で生産される木材を供給
- 路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進
- 小径木や未利用材（D材）は、木質バイオマスへの利用を拡大

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用



列状間伐の導入



低コスト化に向けた取り組み ～ 生産と造林の一貫作業システム ～

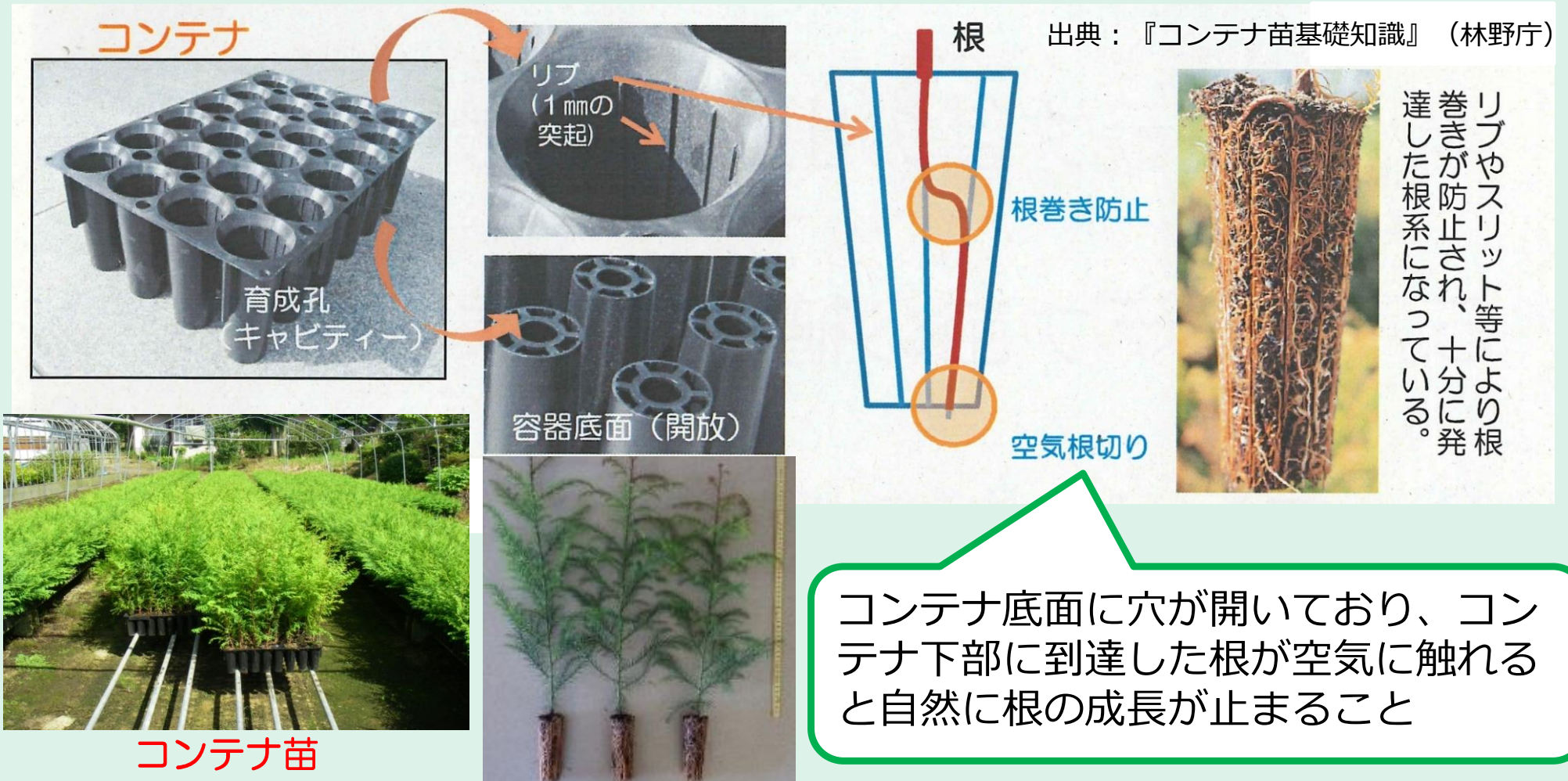
- ・ 植付けの時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能（花粉の少ない苗木等の導入）
- ・ 木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減



※一貫作業システム：伐採と植栽を一体的に行う作業

低コスト化に向けた取り組み ～ コンテナ苗 ～

- ・ 苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産
- ・ 根鉢がコンパクトで小さな植穴で、季節を選ばない効率的な植栽が可能

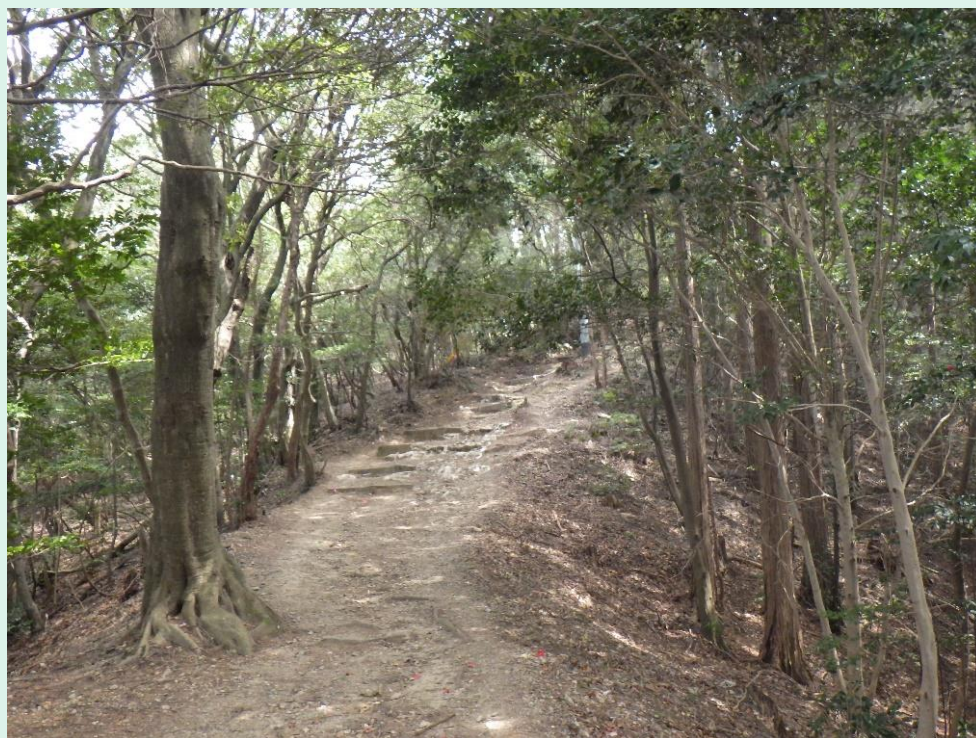


地域産業の振興及び 住民福祉の向上への寄与

国 有 林 野 の 活 用

〇レクリエーションの森

1箇所278haを設定し、国民の保健・文化・教育に活用



城山国有林（岩国市）



種 類	名 称	概 要	面積(ha)
自然休養林	岩国	岩国城、錦帯橋を含め、観光地として、また地域の人々の散策に広く利用	278.11

木の文化を支える森づくり

○檜皮採取対象林

国宝及び重要文化財に指定されている木造建造物の維持・修繕のための資材(檜皮)を持続的に供給する「檜皮採取対象林」を設定し、文化財修復用資材の供給等に努めています。



名 称	面 積(ha)	備 考
檜皮採取対象林	41.10	城山国有林（岩国市）